

千歳市観光客調査 結果報告書

観光客調査概要

■調査目的

道内観光客、道外観光客及び外国人観光客の属性、旅行実態、満足度及び観光消費額など、観光が地域経済にもたらす効果を把握するアンケート調査を実施し、市内の観光資源の特徴、観光動向や観光客のニーズを把握する。

■調査対象 市内の観光施設を訪問及び宿泊施設を利用した観光客（※市民を除く）

■調査方法 観光施設では対面の聞き取り調査、宿泊施設では留置き調査

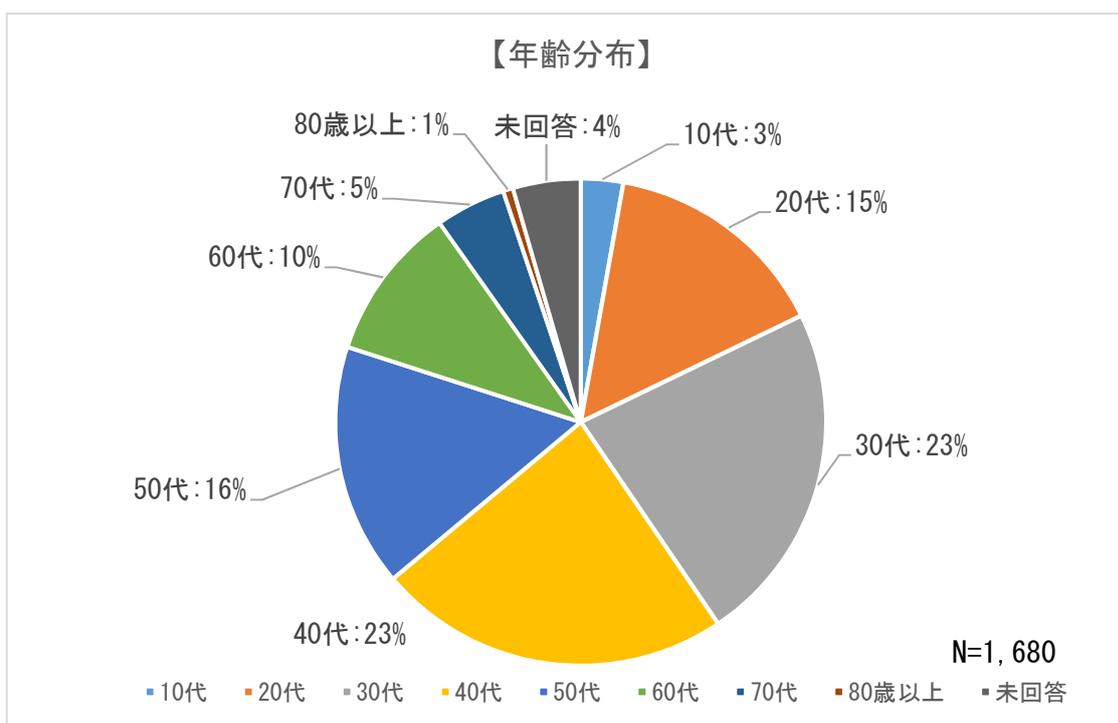
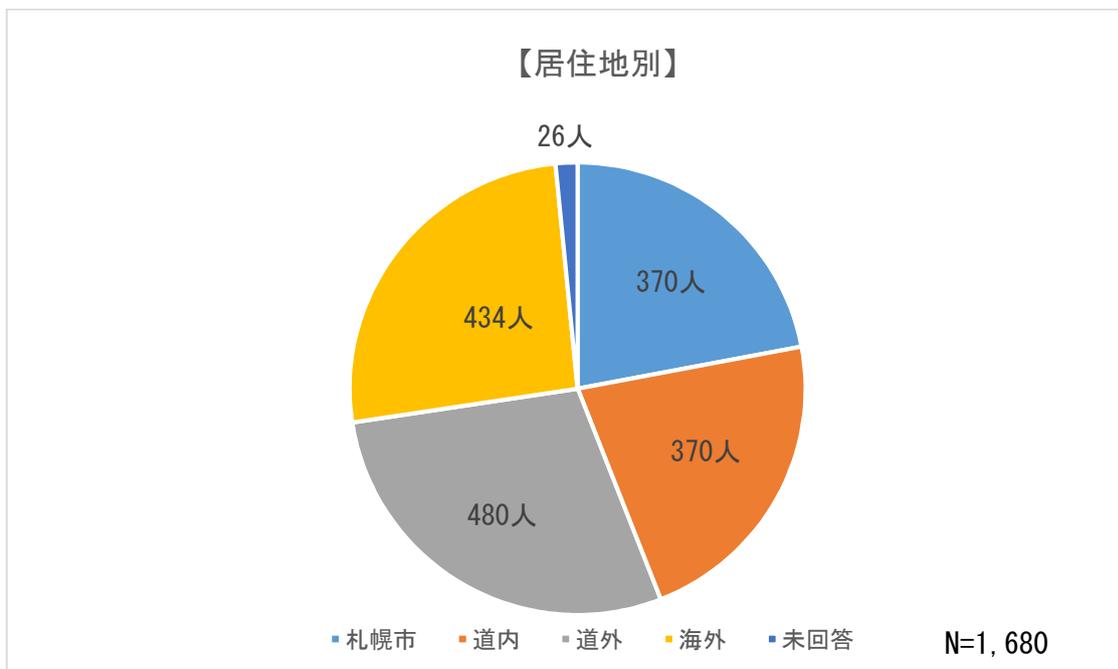
■調査期間 令和6年8月～令和7年2月

■調査地点及び回収サンプル数

分類	地区	調査地点	回収サンプル数
観光施設	支笏湖	支笏湖畔園地	516
		ビジターセンター	
		美笛キャンプ場	
		モラップキャンプ場	
	市街地	道の駅サーモンパーク千歳	795
		サケのふるさと千歳水族館	
		名水ふれあい公園	
		千歳ワイナリー	
		ザ・ノースカントリーゴルフクラブ	
	農村	花茶	74
ふれあいファームいずみ			
小 計			1,385
宿泊施設	支笏湖	支笏湖第一寶亭留 翠山亭	94
		湖畔の宿支笏湖 丸駒温泉旅館	
		しこつ湖鶴雅リゾートスパ 水の譚	
		休暇村支笏湖	
	市街地	ホテルエリアワン千歳	201
		ホテルルートイン千歳駅前	
		千歳エアポートホテル	
		備長炭の湯 ホテルグランテラス千歳	
千歳ステーションホテル			
	JRイン千歳		
小 計			295
総 計			1,680

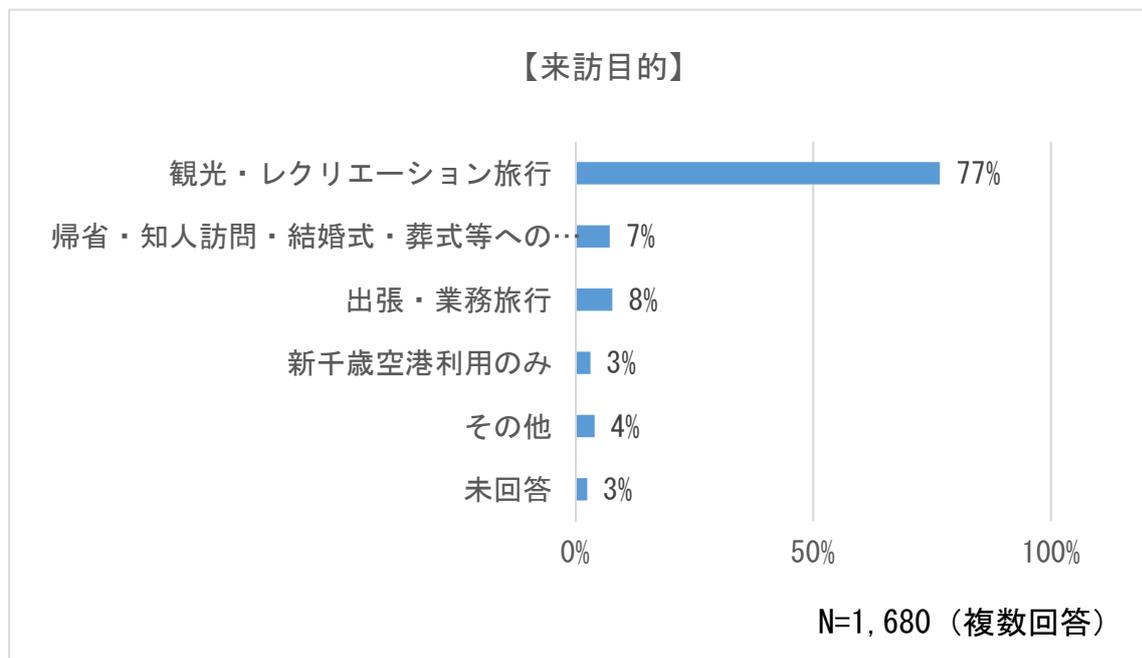
1 回答者の属性について

- 【居住地】「札幌市」370人:22%、「その他の道内」370人:22%、
「北海道外」480人:29%、「海外」434人:26%、「未回答」26人:2%
【性別】「男性」48%、「女性」45%、「未回答」7%
【年齢】30代と40代が一番多く23%、次に50代が16%となっている。



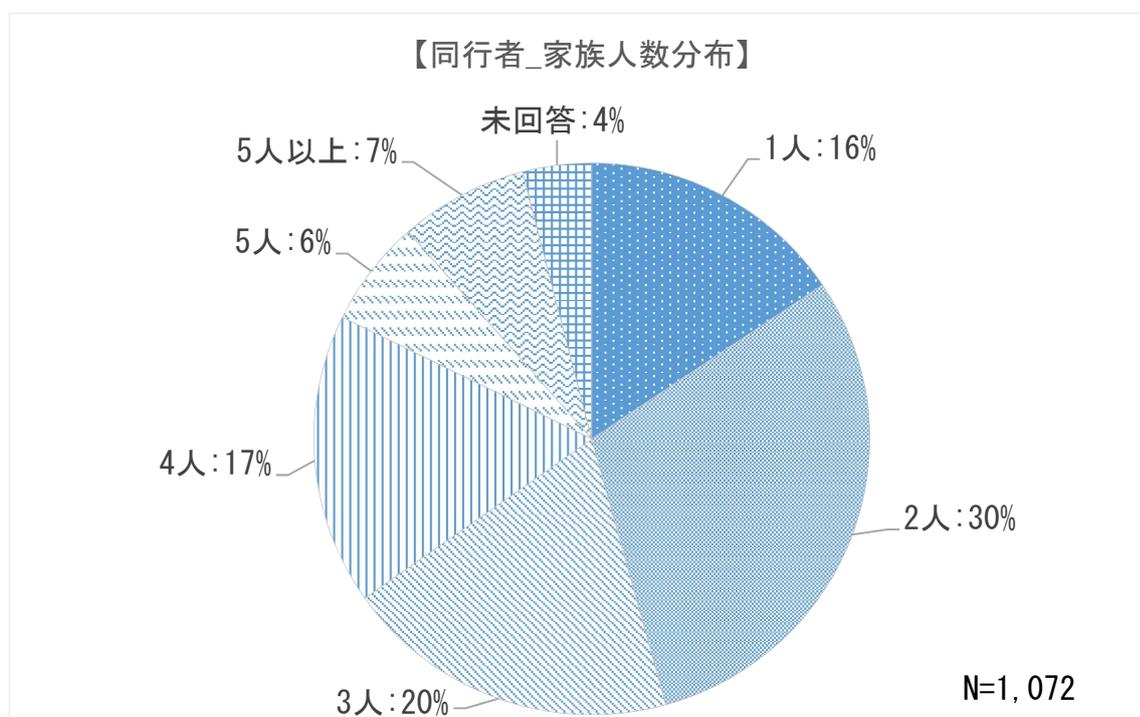
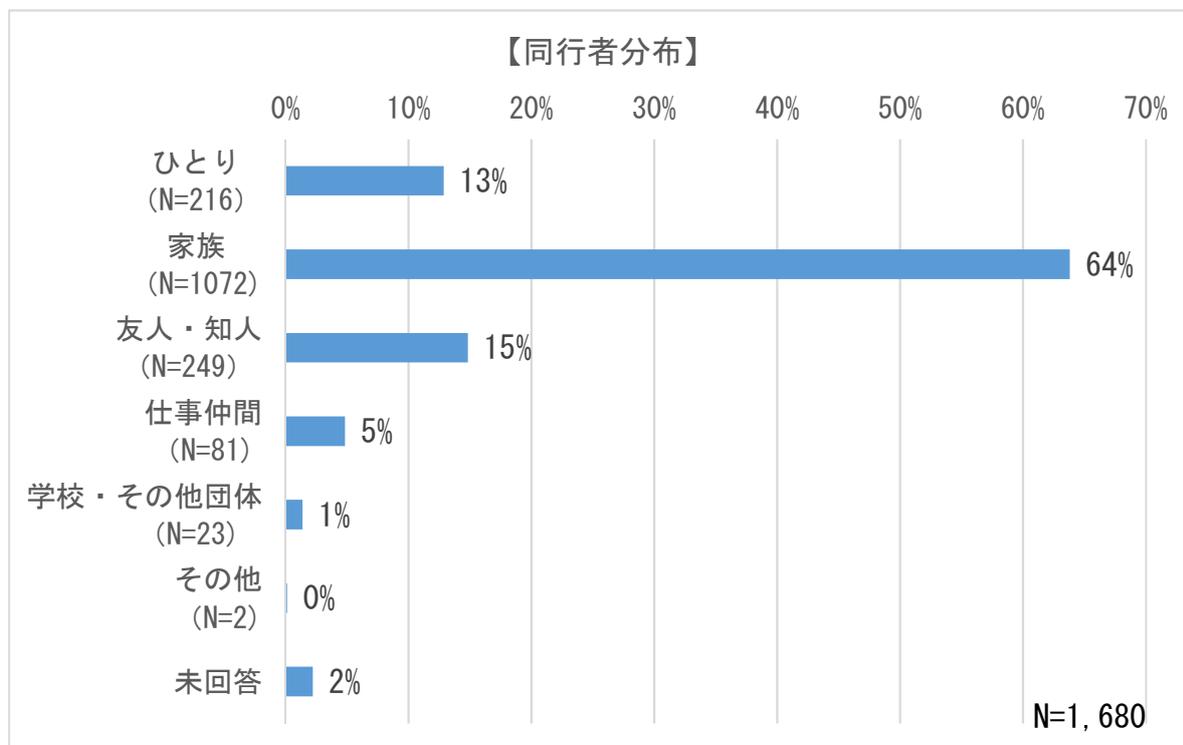
2 来訪目的について

- ・来訪目的として、「観光・レクリエーション旅行」と答えた方が一番多い。

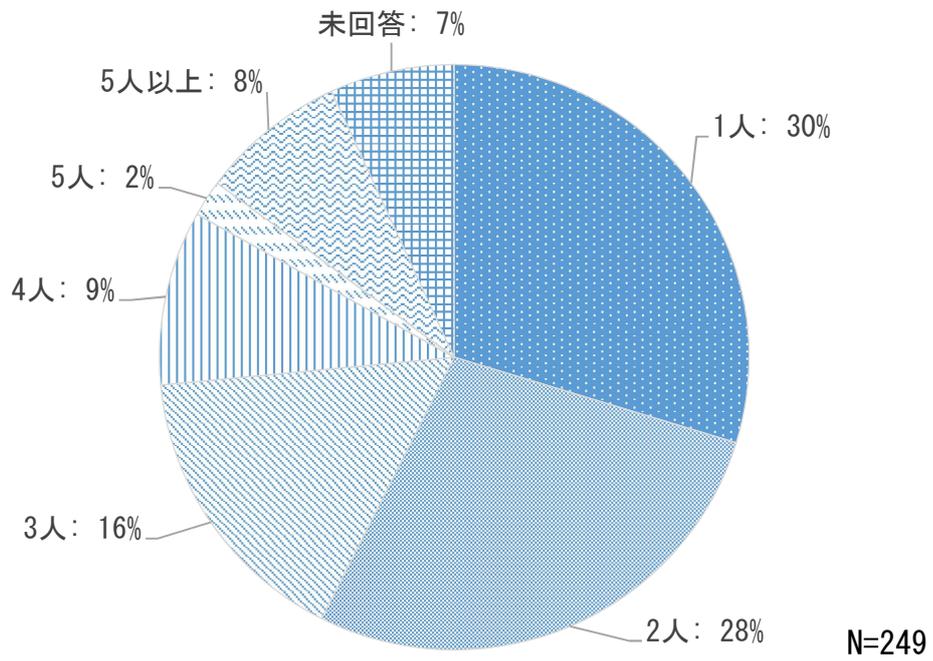


3 同行者構成について

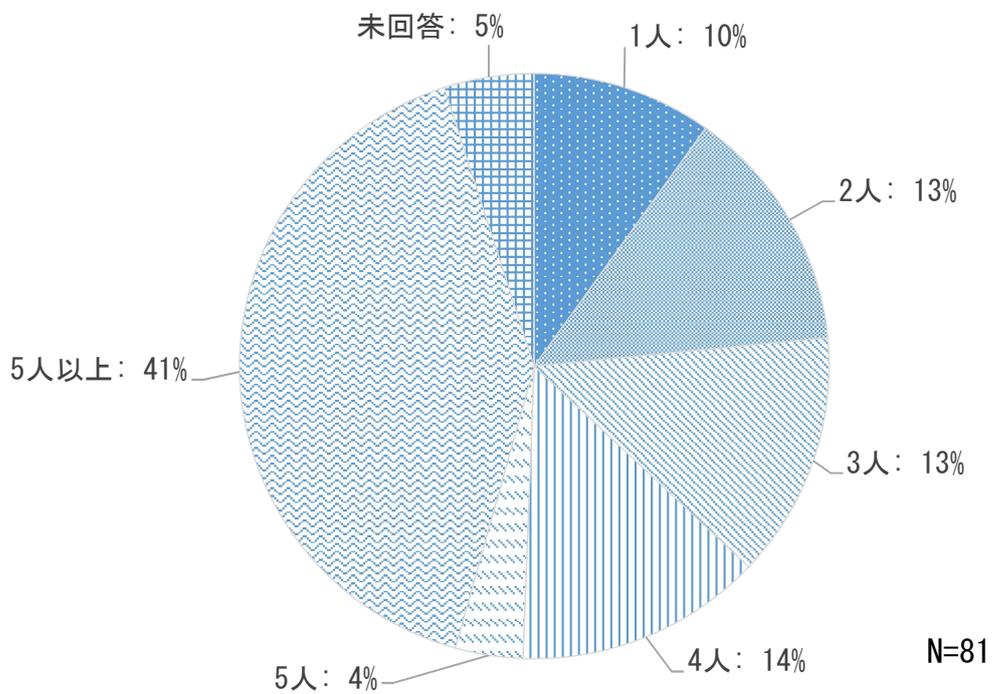
- ・ 家族が6割を超えており、家族人数分布では2人から4人が67%となっている。
- ・ 友人と来た場合は、1人から3人と比較的に少人数が多いが、仕事仲間や友人と来た場合は、5人以上となっている割合が4割を超えている。



【同行者_友人人数分布】

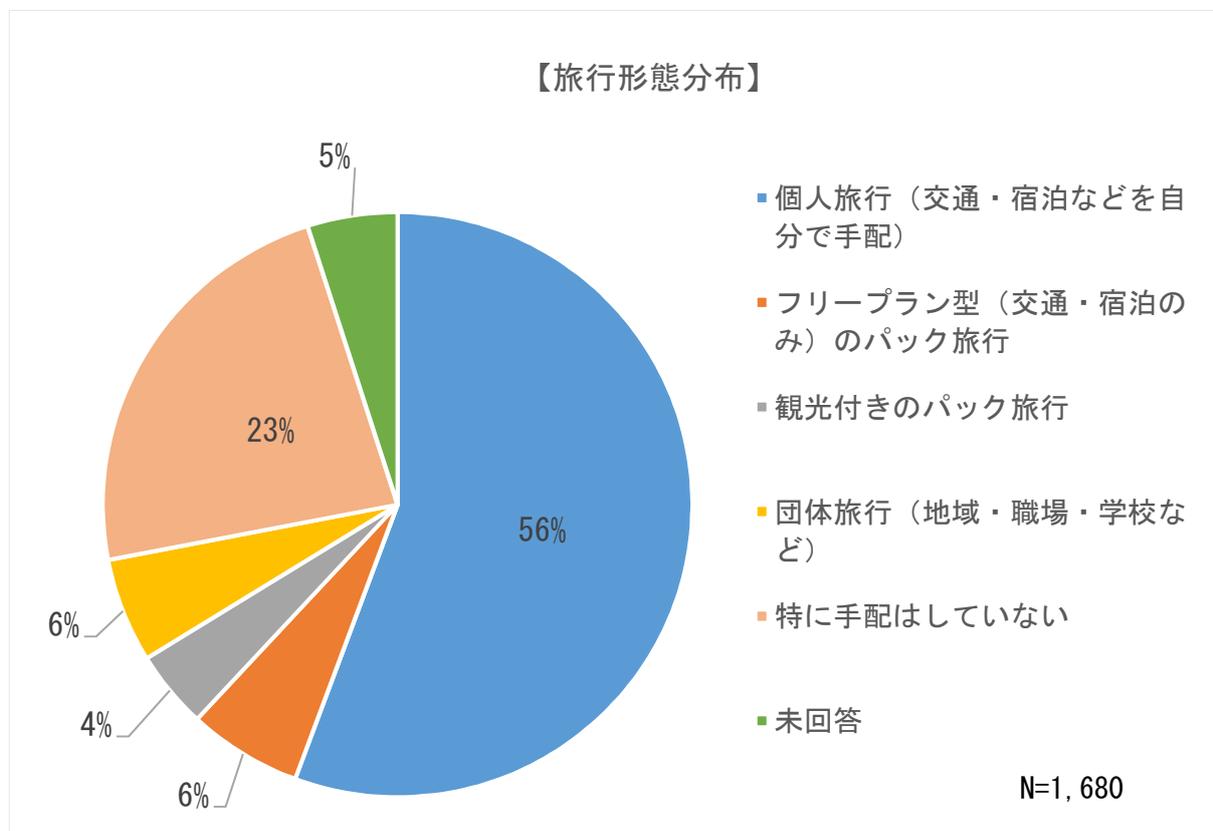


【同行者_仕事仲間人数分布】



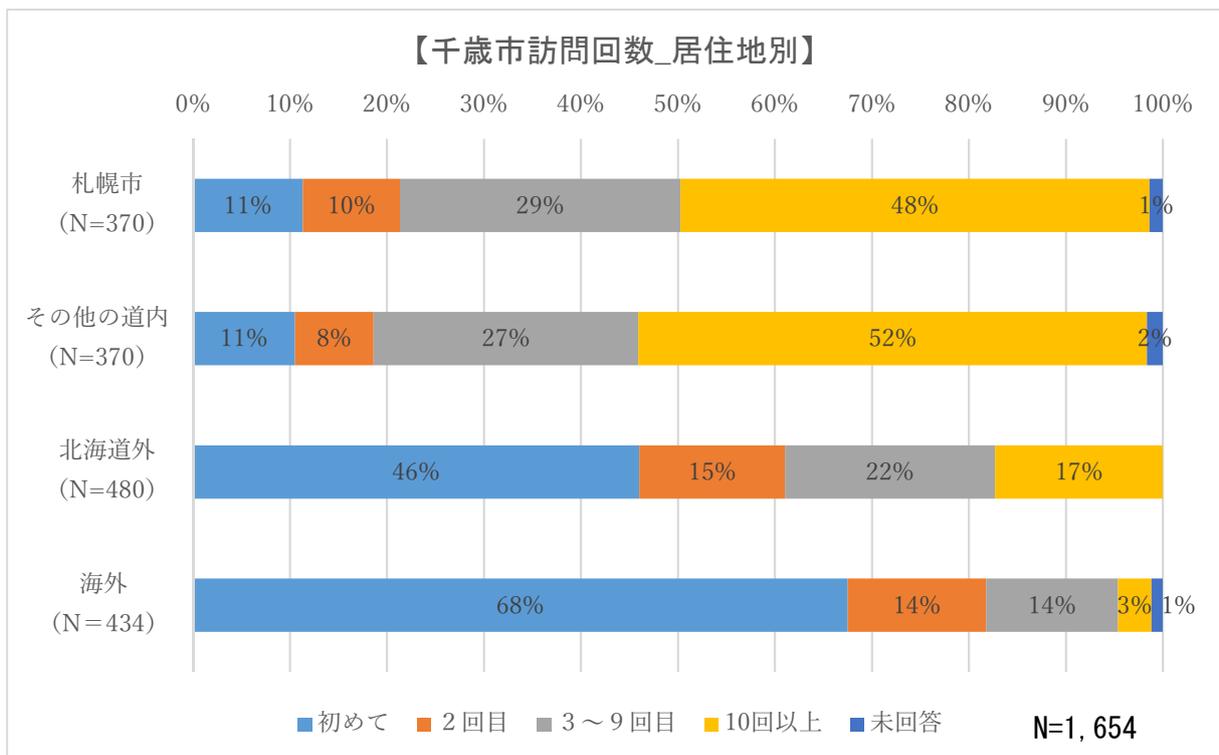
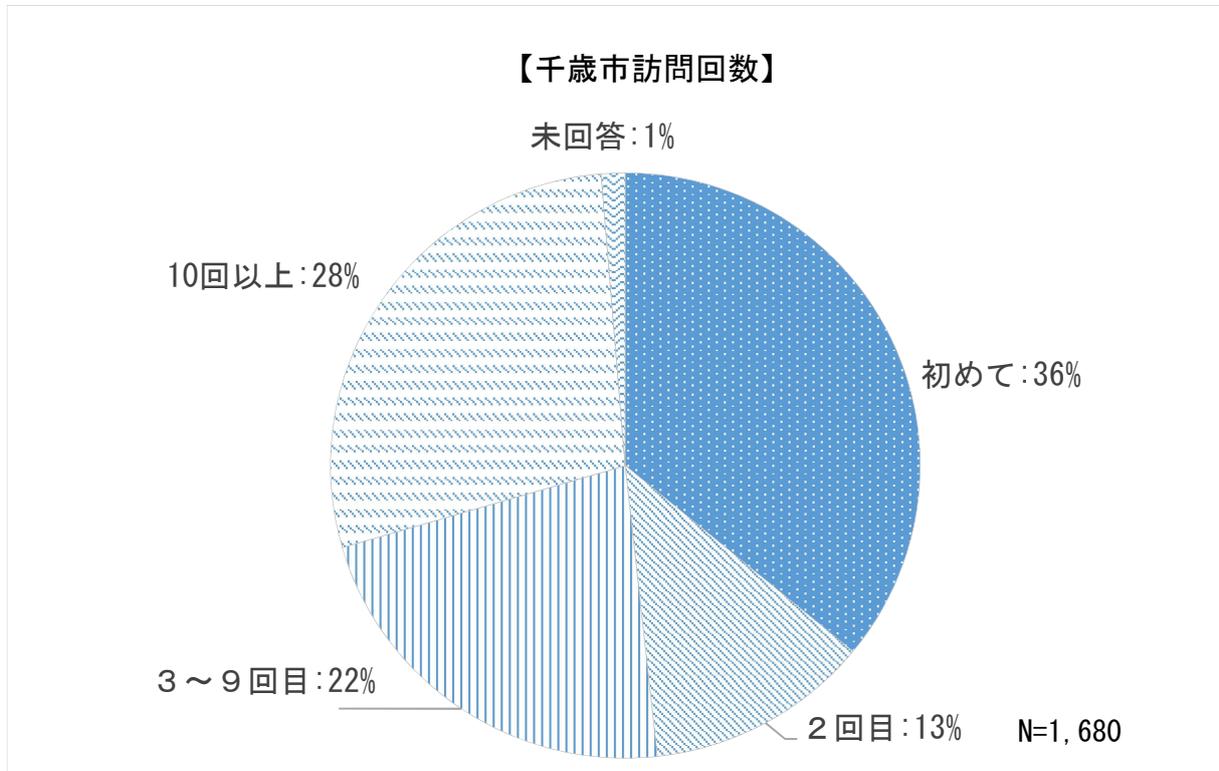
4 旅行形態について

- ・ 個人旅行が半分以上を占めている。
- ・ 特に手配していない方も 23%おり、目的が定まっていないと考えられるため、現地でのコンテンツの提案も有効と推察される。



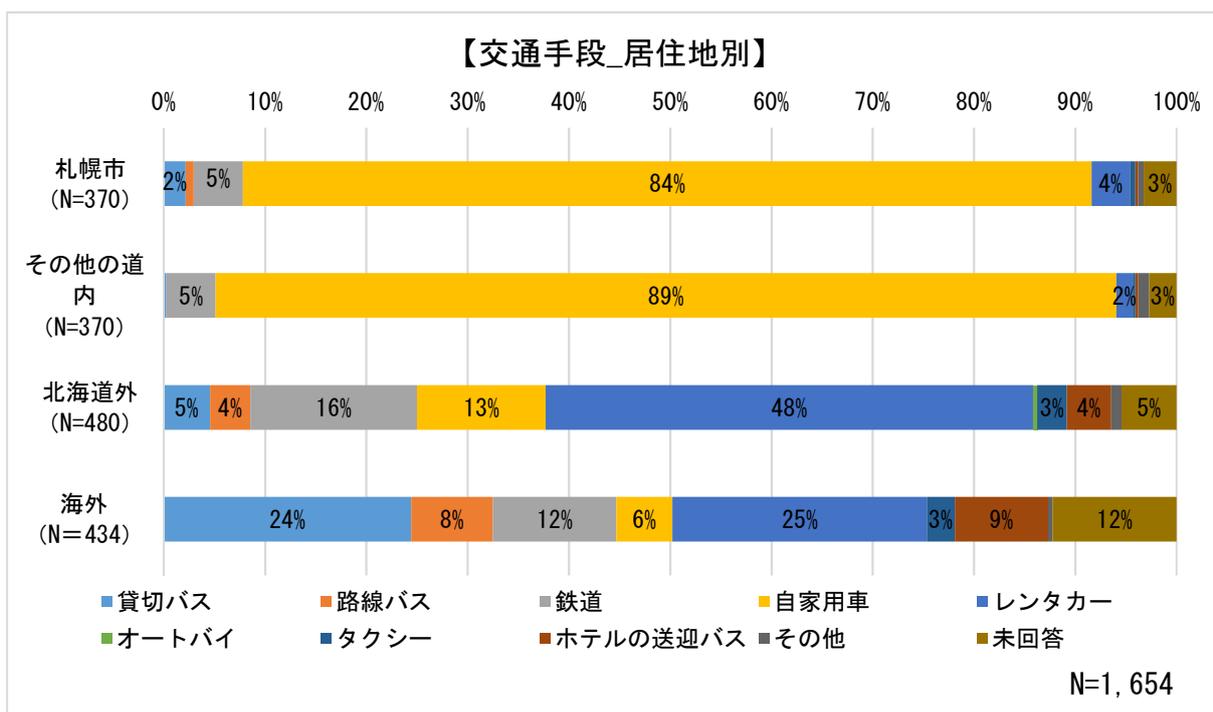
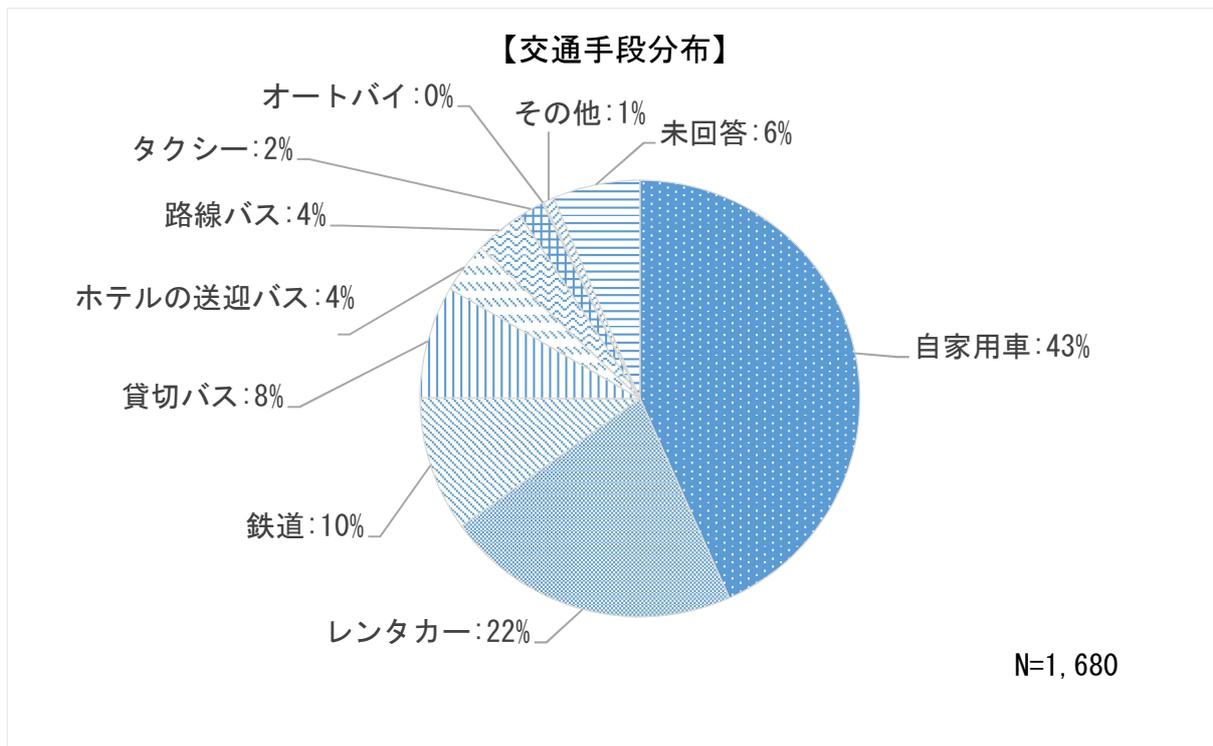
5 旅行回数について

- ・初めての方が36%いる一方、10回以上訪問している方も28%おり、新規者とリピーターの両方を獲得していると言える。特に札幌市や道内は、10回以上の訪問者が多く、道外や海外は初めてが多い。



6 交通手段について

- ・全体では、自家用車とレンタカーの合計が 65%を占めており、車での移動が主となっている。
- ・道内観光客においては自家用車の割合が多く、北海道外ではレンタカーの割合が多く、海外ではレンタカーのほか、貸し切りバスやホテルの送迎バスの割合も多くなっている。



7 千歳市訪問前後の立ち寄り状況について

- ・未回答者を除き、「自宅ー千歳市ー自宅」という千歳市を目的地としている方が一番多くなっている。
- ・千歳市訪問前後で札幌市に立ち寄っている方が489人おり、全体の29%を占めている。

【回答者数 (N=1680)】

訪問後 訪問前	自宅	札幌	小樽	登別・ 洞爺湖	ニセコ ・羊蹄	函館	旭川	富良野 ・美瑛	帯広	その他	未回答
自宅	368	104	17	28	16	3	6	5	3	41	15
札幌	97	67	15	30	10	5	10	1	2	28	24
小樽	16	10	1	1	0	1	0	1	0	1	4
登別・洞爺湖	18	23	3	3	0	2	1	4	1	6	4
ニセコ・羊蹄	6	4	0	1	0	0	0	0	0	2	1
函館	1	8	3	1	0	0	2	1	1	0	4
旭川	4	6	0	0	1	2	0	0	0	2	3
富良野・美瑛	7	2	2	0	0	0	0	1	0	2	1
帯広	2	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0
その他	48	28	3	6	2	2	2	1	2	29	34
未回答	23	14	6	7	1	0	1	0	1	11	389

8 千歳市内での宿泊状況について

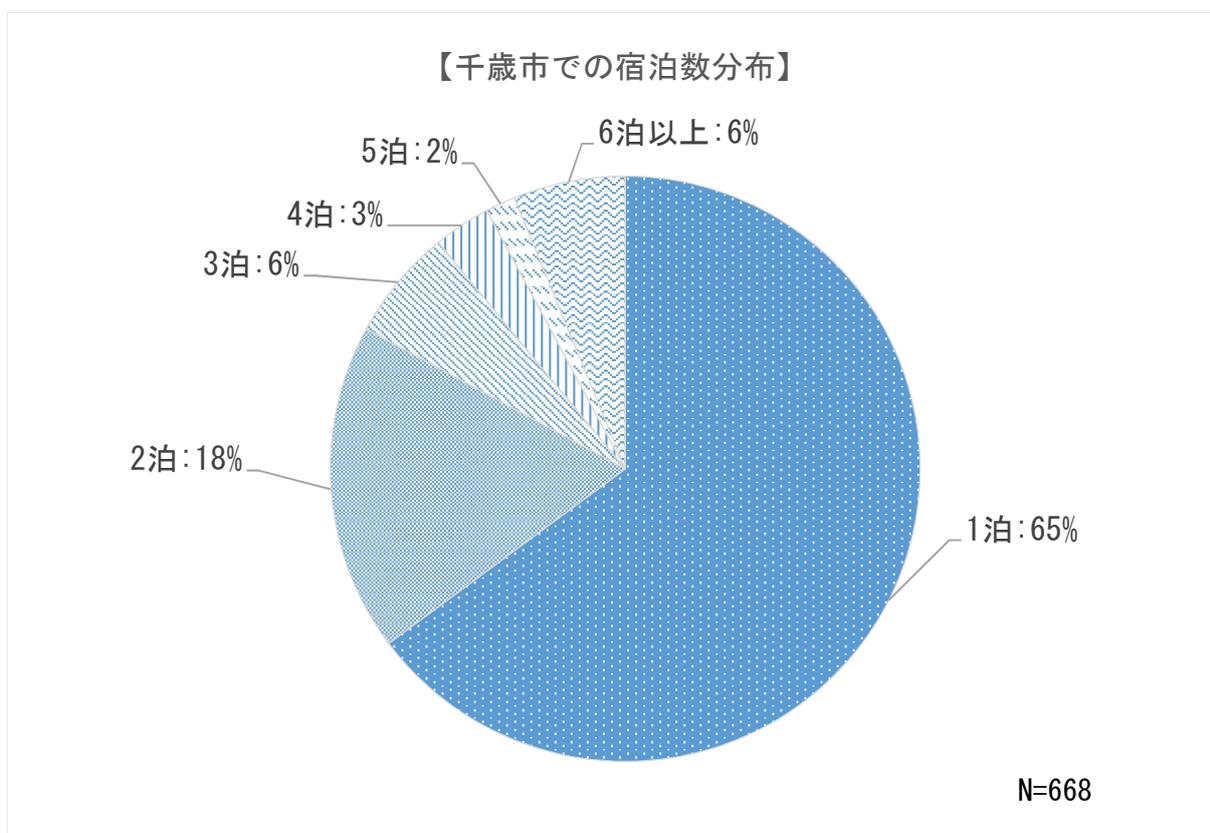
- ・本調査の回答者 1,680 人のうち、宿泊を伴う旅行者は 1,141 人おり、そのうち千歳市に宿泊した方は 668 人である。
- ・「千歳市に宿泊した方の宿泊数の平均（居住地別）」によると、北海道外と海外では、旅行全体と比べ 2 泊以上の差があるが、千歳市での宿泊数は北海道外が多い。

【千歳市に宿泊した方の宿泊数の平均】

千歳市宿泊者数	旅行全体宿泊数の平均	うち千歳市宿泊数の平均
668 人	5.11 泊	2.19 泊

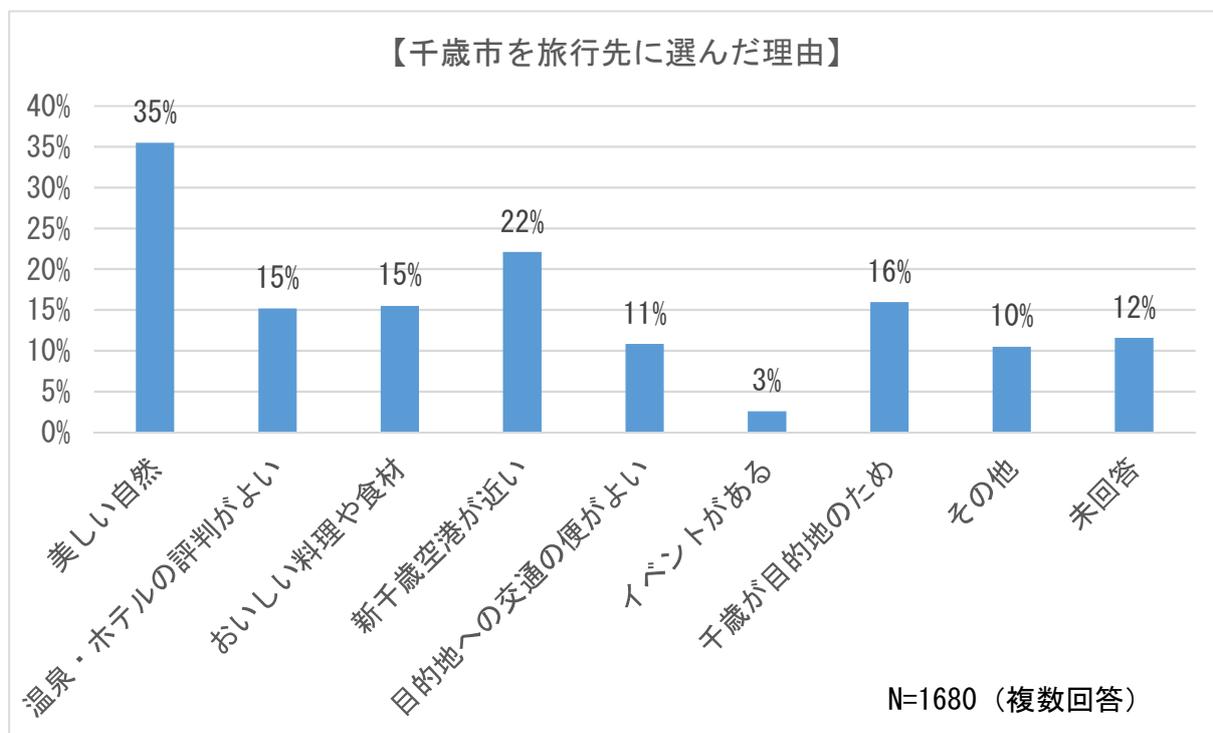
【千歳市に宿泊した方の宿泊数の平均（居住地別）】

項目	居住地				
	札幌市	その他の道内	北海道外	海外	未回答
人数	76 人	80 人	211 人	289 人	12 人
旅行全体宿泊数の平均	2.34 泊	1.83 泊	4.85 泊	6.96 泊	4.75 泊
うち千歳市宿泊数の平均	2.05 泊	1.18 泊	2.90 泊	2.01 泊	1.75 泊



9 千歳市を旅行先として選んだ理由について

- ・総じて自然を目的に千歳市を選ぶ方が多い。
- ・札幌市を含めた北海道内では、千歳市を目的地としている方が多い。
- ・北海道外及び海外では、新千歳空港が近いことが大きな要因となっている。
- ・海外では、温泉・ホテルを目的にする方が多い。

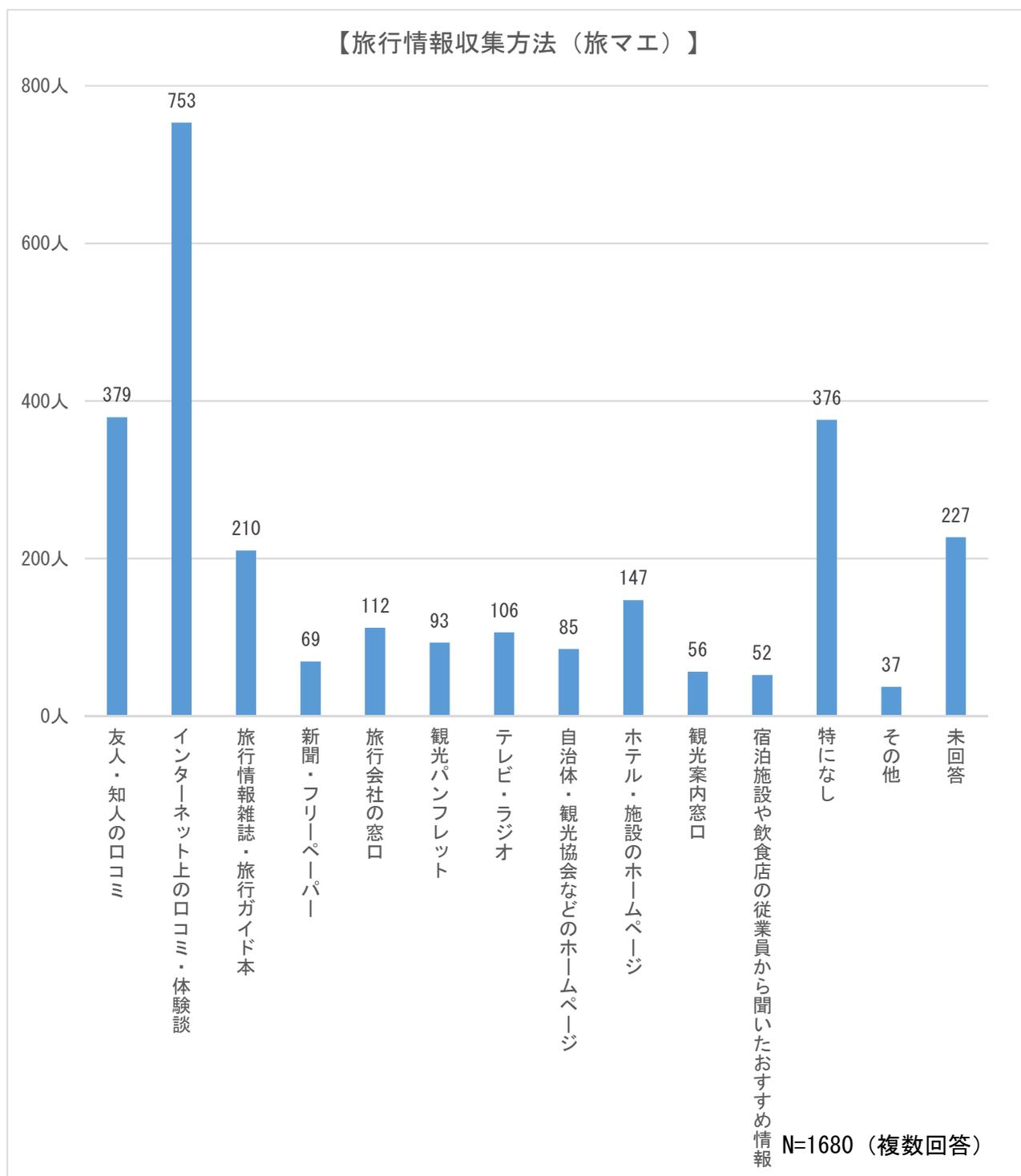


【居住地別の理由】

理由	札幌市 (N=370)	その他の道内 (N=370)	北海道外 (N=480)	海外 (N=434)
美しい自然	34%	21%	21%	64%
温泉・ホテルの評判が良い	6%	5%	8%	38%
おいしい料理や食材	16%	17%	9%	20%
新千歳空港が近い	8%	8%	42%	24%
目的地への交通の便が良い	6%	11%	14%	12%
イベントがある	3%	4%	2%	2%
千歳市が目的地のため	24%	25%	13%	6%
その他	16%	15%	10%	3%
未回答	11%	17%	13%	5%

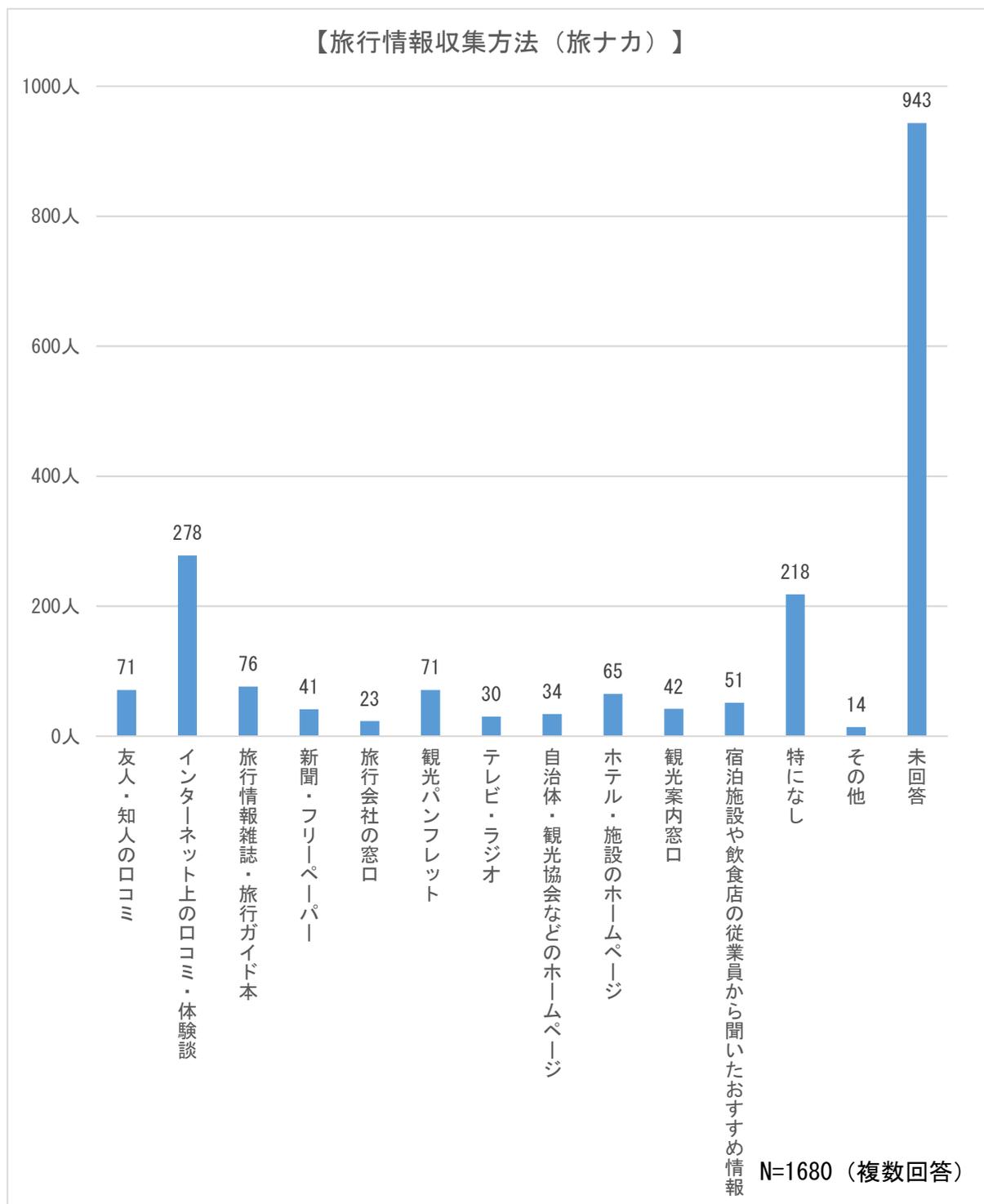
10 旅行情報収集方法（旅マエ）について

- ・インターネットや友人・知人の口コミによる情報収集が主流となっている。
- ・若年層から中年層では、比較的どの媒体も利用しているが、高年層においては新聞の割合が比較的高い。



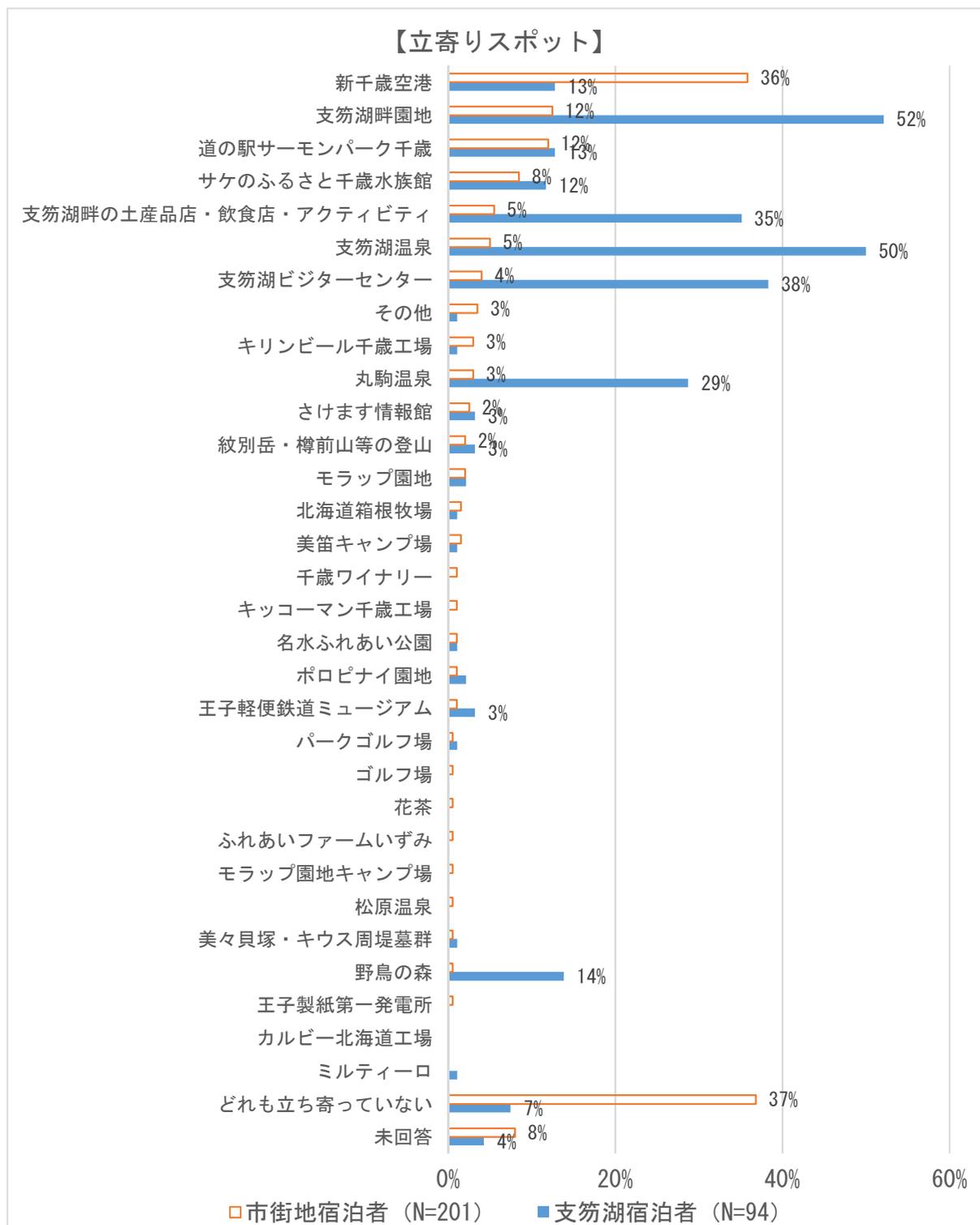
1.1 旅行情報収集方法（旅ナカ）について

- ・若年層・中年層においては、旅ナカでの情報収集はあまり行っていないが、要因として旅の目的が定まっているということが予想される。
- ・高年層においては、旅マエよりも旅ナカでのインターネット利用が多く、旅行情報誌の利用も多い。



1 2 宿泊者の立寄りスポットについて（宿泊地区別）

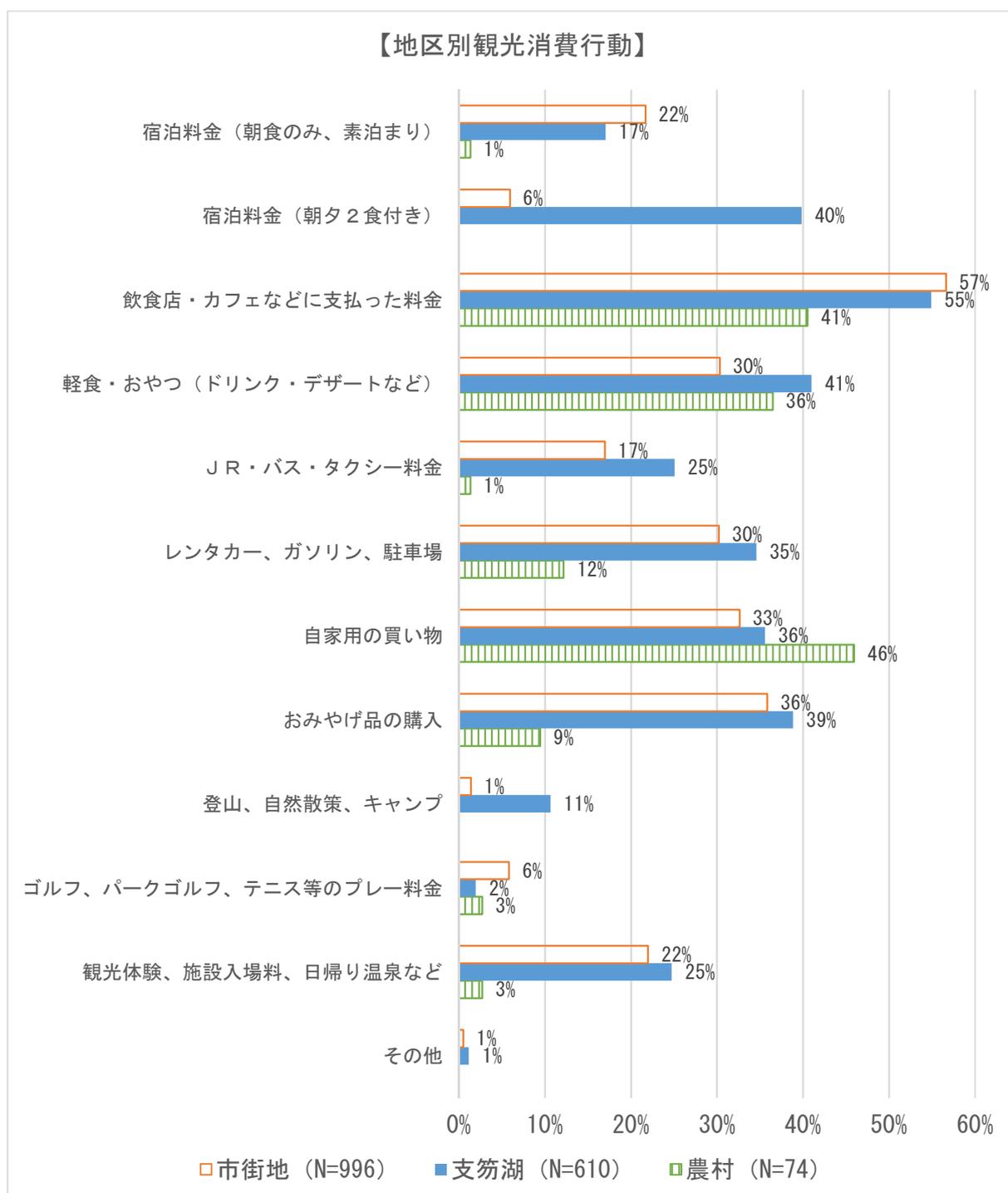
- ・市街地宿泊者においては、新千歳空港が一番多く、次に支笏湖畔園地、道の駅サーモンパーク千歳となっており、市街地に宿泊した場合でも支笏湖に行く方が多い。
- ・どれも立寄っていない方も多く、観光スポットへの誘導が必要と考えられる。
- ・支笏湖宿泊者においては、支笏湖畔園地、支笏湖温泉、支笏湖ビジターセンターの順となっており、支笏湖地区内のスポットを巡る傾向にある。



1 3 観光消費行動について

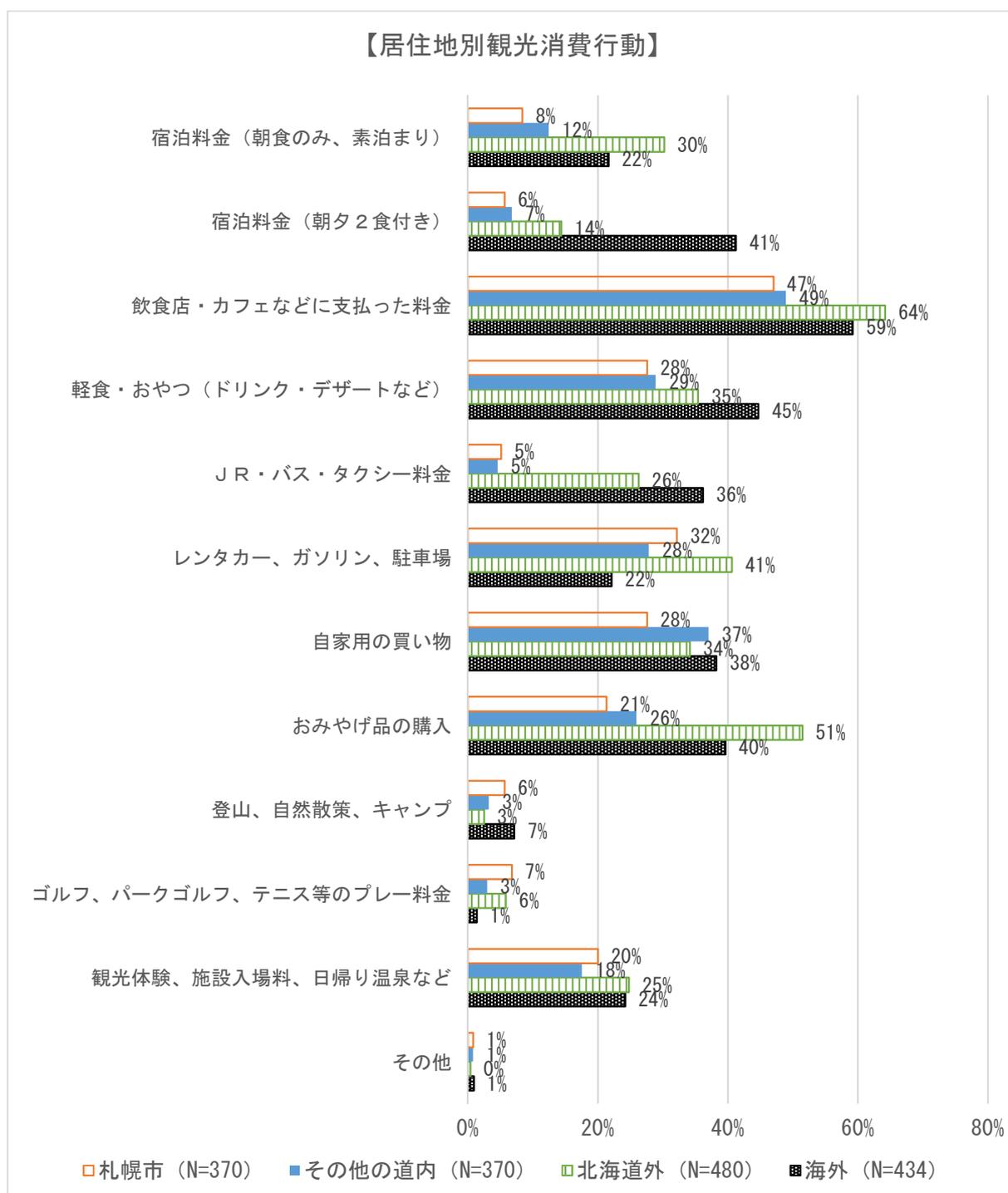
【地区別観光消費行動】

- ・市街地地区では、飲食店での消費が一番多く、次いでお土産品の購入が多い。
- ・支笏湖地区では、飲食店での消費やお土産品の購入が多く、J R・バスなどの公共交通やレンタカーなどの交通に係る消費も多い。
- ・農村地区では、飲食や自家用の買い物目的の方が多い。



【居住地別観光消費行動】

- ・北海道内の方は、飲食店での消費や自家用の買い物をする方が多い。
- ・北海道外の方は、比較的どの項目も多くなっているが、特に飲食店での消費、お土産品の購入やレンタカーなどの利用する方が多い。
- ・海外の方は、宿泊を伴う方が多く、飲食の他、自家用の買い物とお土産品を購入する方がほぼ同数で多い。



14 消費額について

【地区別の比較】

- ・支笏湖地区の平均消費金額が一番高くなったが、理由としては、宿泊単価が高いほか空港及び駅からの交通費が高くなることが要因となっている。
- ・市街地地区の体験費は、他の地区に比べて高くなっており、ゴルフなどの体験が多いと考えられる。
- ・農村地区では、宿泊施設も少ないため金額が低くなっているが、宿泊費を除き、飲食費、買い物費について、他の項目よりも高い。

【居住地別の比較】

- ・北海道外、海外と遠方地になるにつれ宿泊が伴うこともあり、平均消費金額は増加傾向にある。
- ・飲食費、買い物費においても、道外、海外が高い傾向にある。
- ・交通費は、道外・海外ともに高いが、レンタカー等の利用がその要因となっている。
- ・体験費については、道外が最も多く、ゴルフなどの体験費と考えられる。

○一人当たりの平均消費金額について（金額欄の上段が日帰り客、下段が宿泊客）

項目 \ 地区	全回答者 (N=1204)	支笏湖 (N=392)	市街地 (N=742)	農村 (N=70)
全体	12,231 円 70,501 円	11,968 円 88,564 円	13,345 円 53,963 円	4,111 円 18,700 円
うち 札幌市	6,178 円 26,037 円	4,810 円 32,708 円	7,243 円 21,473 円	2,959 円 －円
うち その他の道内	5,519 円 40,916 円	5,858 円 31,265 円	5,941 円 45,136 円	2,829 円 18,700 円
うち 北海道外	25,671 円 53,019 円	12,738 円 56,820 円	28,313 円 51,297 円	23,965 円 －円
うち 海外	20,590 円 115,562 円	22,095 円 120,446 円	12,852 円 97,152 円	－円 －円

（全体の項目別内訳）

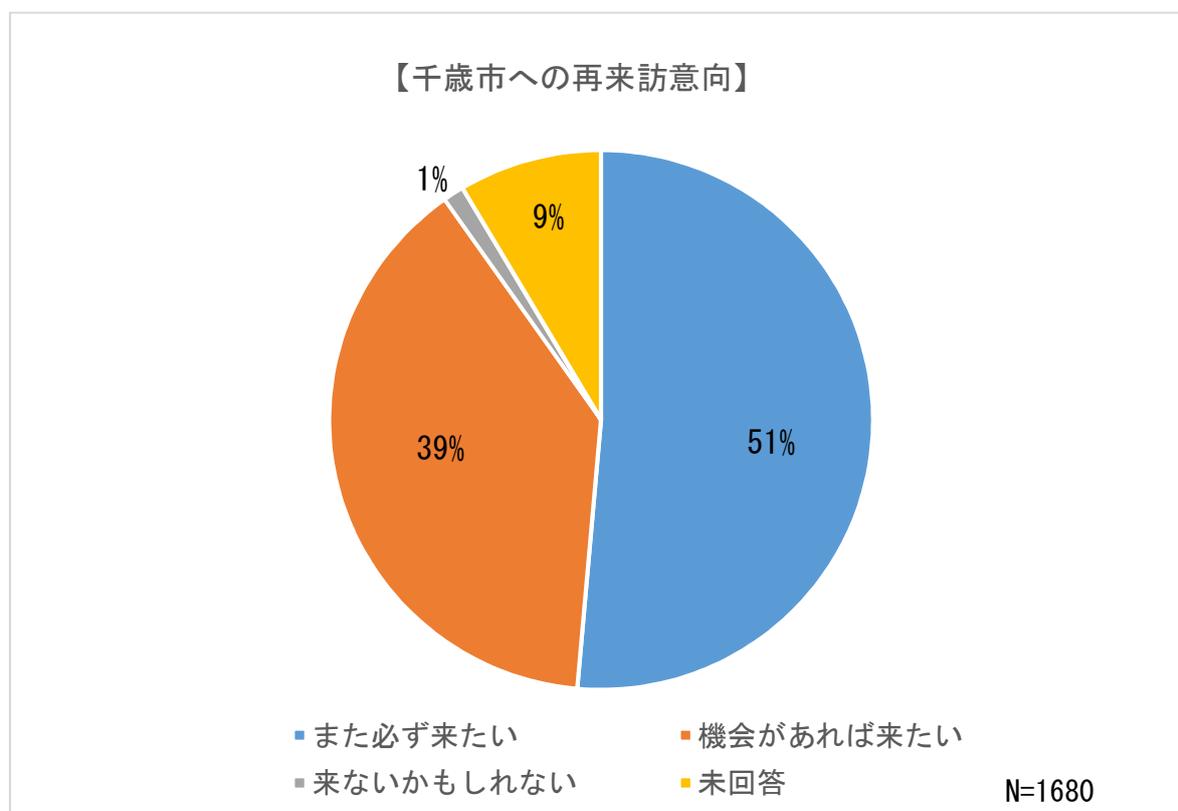
宿泊費	－円 33,445 円	－円 48,815 円	－円 19,247 円	－円 13,000 円
飲食費	3,434 円 10,651 円	3,125 円 11,242 円	3,717 円 10,132 円	2,127 円 5,000 円
交通費	4,043 円 11,514 円	4,753 円 13,844 円	4,232 円 9,407 円	291 円 0 円
買い物費	2,778 円 10,319 円	2,919 円 11,682 円	2,887 円 9,105 円	1,458 円 0 円
その他体験費	1,976 円 4,572 円	1,171 円 2,982 円	2,508 円 6,072 円	235 円 700 円

(居住地別)

居住地 項目	札幌市 (N=308)	その他の道内 (N=315)	北海道外 (N=361)	海外 (N=210)
全体	6,178 円 26,037 円	5,519 円 40,916 円	25,671 円 53,019 円	20,590 円 115,562 円
宿泊費	— 円 15,845 円	— 円 22,337 円	— 円 19,463 円	— 円 60,074 円
飲食費	1,940 円 2,867 円	2,148 円 7,401 円	5,954 円 8,021 円	6,336 円 17,422 円
交通費	770 円 3,175 円	822 円 1,531 円	10,644 円 10,458 円	8,747 円 18,492 円
買い物費	1,357 円 2,813 円	1,831 円 7,918 円	5,372 円 7,172 円	4,151 円 17,102 円
その他体験費	2,111 円 1,338 円	718 円 1,729 円	3,701 円 7,905 円	1,356 円 2,472 円

1.5 千歳市への再来訪意向について

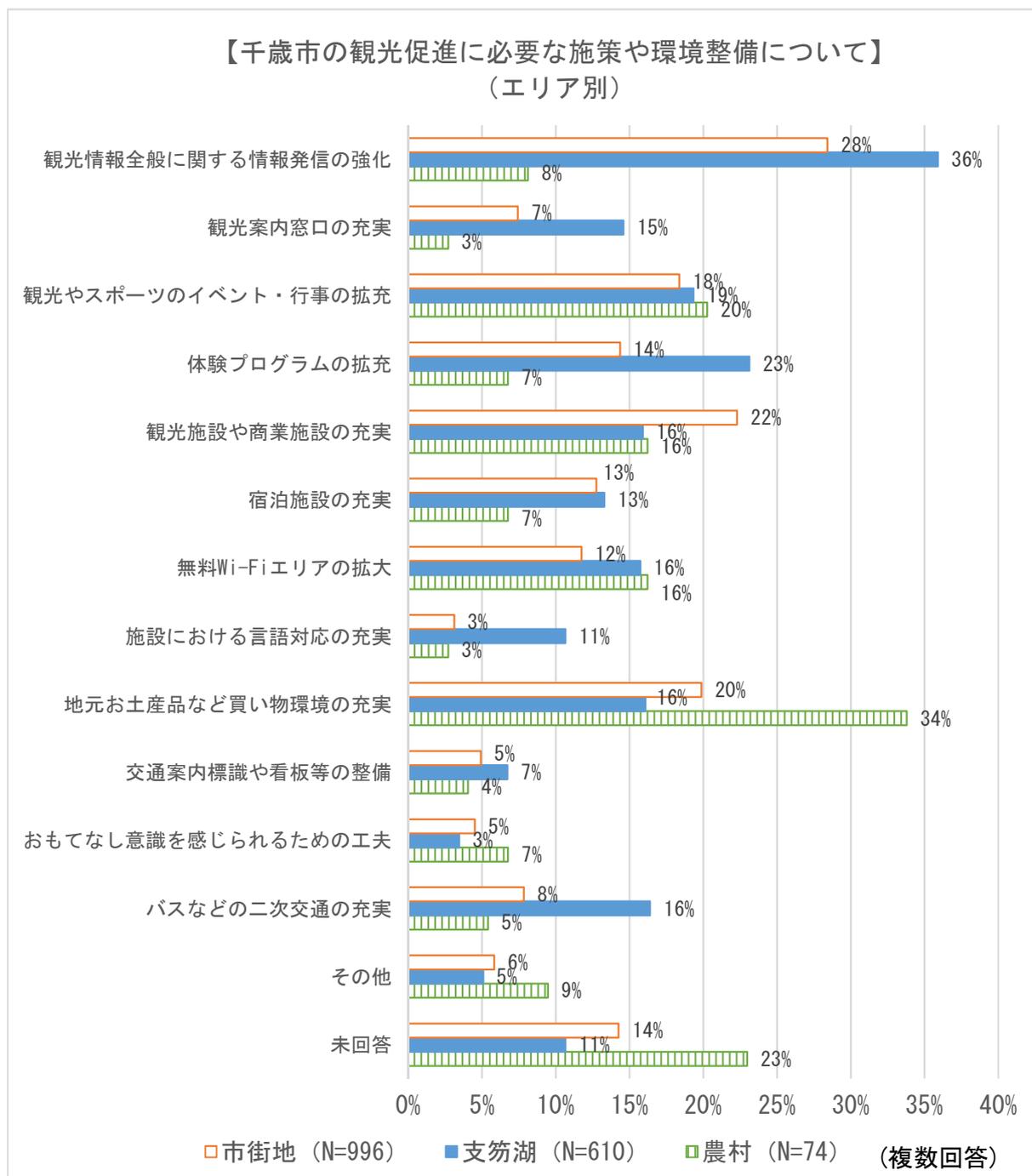
・「また必ず来たい」と「機会があれば来たい」を合わせると 90%となっている。



16 千歳市の観光促進に必要な施策や環境整備について

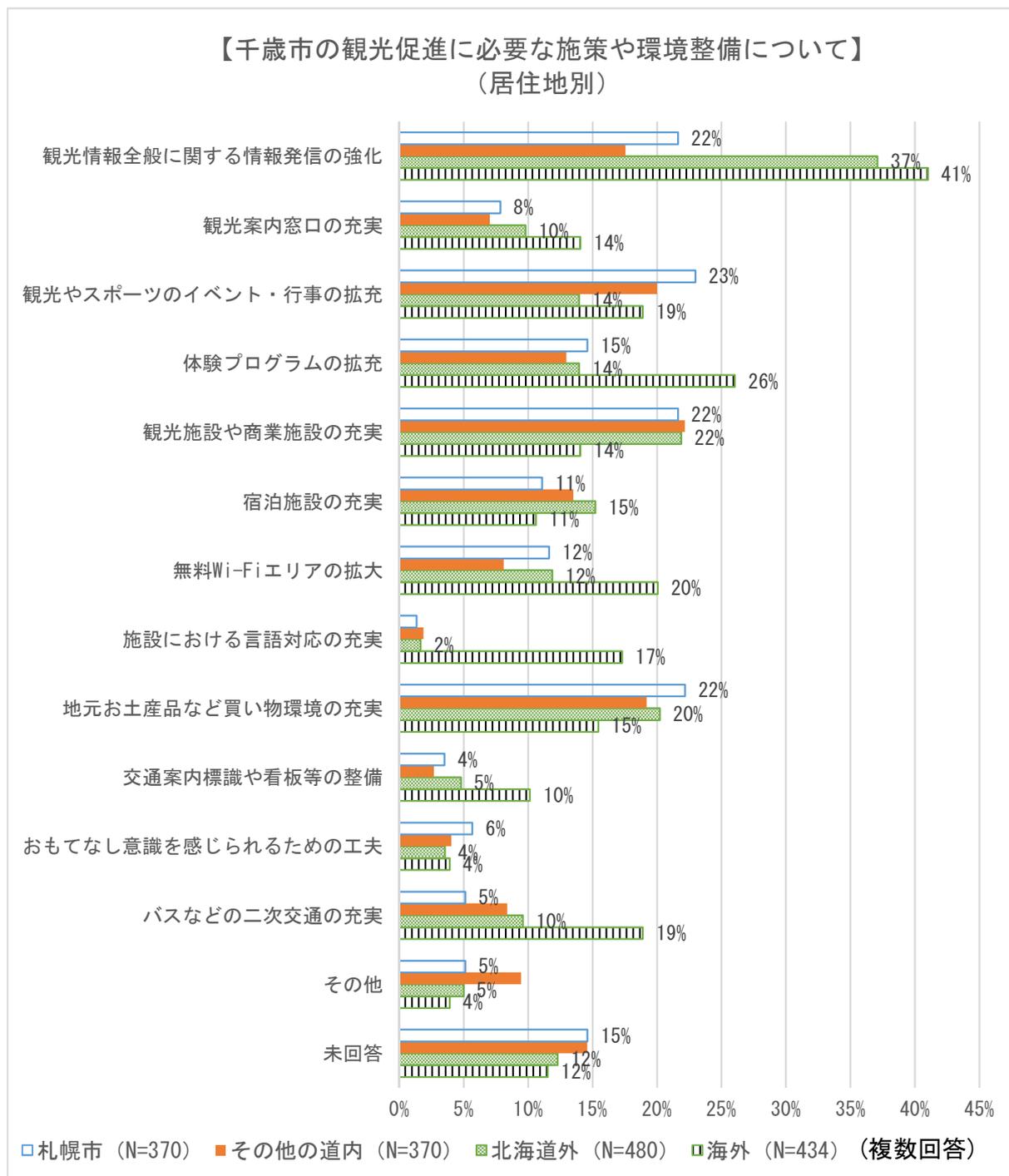
【エリア別の比較】

- ・市街地エリアでは、情報発信の強化、観光・商業施設の充実、地元お土産品などの買い物環境の充実を求める意見が多い。
- ・支笏湖エリアでは、市街地エリアと同様に情報発信の強化が一番多いが、体験プログラムの拡充や二次交通の充実を求める意見が比較的多い。
- ・農村エリアでは、お土産品など買い物環境の充実が一番多く、観光やスポーツのイベント・行事の拡充の意見が比較的多い。



【居住地別の比較】

- ・情報発信の強化は、すべての項目の中で一番求める意見が多いが、特に道外・海外において多くなっている。
- ・海外の方においては、観光案内窓口の充実、施設における言語対応の充実、交通案内標識など案内・誘導を求める意見が多い。
- ・体験プログラムの拡充、無料Wi-Fiエリアの拡大やバスなどの二次交通についても、海外の方が比較的多くなっている。
- ・総じて、海外の方が全般的な環境整備を求める意見が多く、海外向けの環境整備の必要性がうかがえる。



千歳市観光客調査結果報告書（傾向と取組みの方向性）

1 回答者の属性

【傾向】

- ・北海道外・海外の来訪者が半数以上（55%）、広域からの集客力あり。
- ・男女は、ほぼ均等、未回答も一定数
- ・年齢は、30～40代中心だが、50代以上の層も一定割合

【取組みの方向性】

- ・年代・国籍・地域別に細分化したプロモーションが必要
- ・若年層の取込み策（例：アクティビティプログラム、SNSでの情報発信）が効果的
- ・高齢層の取込み策（例：バリアフリー対応、落ち着いた体験プログラム）が効果的
- ・未回答層の理由把握・改善（調査方法や設問の見直し）の検討余地

2 来訪目的

【傾向】

- ・観光・レクリエーションが主目的、ビジネス利用は少ない。

【取組みの方向性】

- ・観光以外の目的（ビジネス・研修・スポーツ合宿等）の需要喚起も余地あり。
- ・レジャー観光の深掘りコンテンツが重要

3 同行者構成

【傾向】

- ・家族中心、特に小グループ（2～4人）
- ・友人・仕事仲間は、5人以上の中規模も目立つ。

【取組みの方向性】

- ・家族・少人数グループ向けの宿泊・体験プラン強化
- ・グループ向け貸切施設、団体向けプログラムの検討

4 旅行形態

【傾向】

- ・個人旅行が主流、23%は事前手配なし。

【取組みの方向性】

- ・個人でも楽しめるコンテンツ創出の強化
- ・当日予約・飛込み対応が可能な体験・交通・飲食情報を強化
- ・現地でのスマホ活用や観光案内所機能の強化

5 旅行回数

【傾向】

- ・リピーター・新規の両方存在。道内客は、リピーター、道外・海外は新規多数

【取組みの方向性】

- ・新規向け「わかりやすい周遊モデルコース」、リピーター向け「発見型・深化型体験」の両立が必要
- ・リピーター向け特典や会員制度の導入も有効

6 交通手段

【傾向】

- ・車利用が多数（自家用車・レンタカー65%）。海外は送迎バス・貸切バスも多い。

【取組みの方向性】

- ・レンタカー利用客向けの駐車場・交通案内の強化
- ・海外客向け多言語交通案内・予約支援の整備
- ・二次交通（バス・タクシー・オンデマンド交通等）の強化

7 千歳市訪問前後の立ち寄り状況

【傾向】

- ・千歳単独訪問が中心だが、訪問前後において札幌市を中心として広域的な動きが多い。

【取組みの方向性】

- ・広域連携（札幌・登別等）での共同プロモーションや周遊ルート整備が有効
- ・千歳単独滞在の満足度向上を図るコンテンツが必要

8 宿泊状況

【傾向】

- ・道外・海外宿泊者の滞在が長め。

【取組みの方向性】

- ・長期滞在型観光（ワーケーション・連泊向け体験）の推進
- ・滞在中の移動手段・アクティビティの提案が重要

9 千歳市を選んだ理由

【傾向】

- ・海外は、自然（64%）、温泉ホテル（38%）、空港が近い（24%）が主因
- ・道外は、空港が近い（42%）。

【取組みの方向性】

- ・空港を起点とした「1泊2日モデル」や自然・温泉の連動PRが有効
- ・空港近接の特性を生かした短期滞在型商品造成

10 情報収集（旅マエ）

【傾向】

- ・ ネット・口コミが中心、年代で差あり（高齢層は新聞も利用）。

【取組みの方向性】

- ・ デジタル×アナログの多様な情報提供チャネルの必要性
- ・ 高齢層向け紙媒体や新聞広告の活用

11 情報収集（旅ナカ）

【傾向】

- ・ 若中年層は、旅ナカ収集少なめ、高齢層は旅ナカで情報を補足

【取組みの方向性】

- ・ 現地発信力（案内所・デジタルサイネージ・無料Wi-Fi）の強化
- ・ 高齢層にもわかりやすい旅ナカ情報ツールの充実

12 宿泊者立寄りスポット

【傾向】

- ・ 市街地宿泊者も支笏湖訪問多数。立寄りゼロも多い。

【取組みの方向性】

- ・ 宿泊施設からの回遊プラン提供、周遊バス等の強化
- ・ 「立ち寄らない層」向けの魅力発信・誘導策が必要

13 観光消費行動

【傾向】

- ・ 飲食・土産が主、支笏湖は交通費も大きい。

【取組みの方向性】

- ・ 飲食・土産の地域性強化、購入促進策（クーポン・PR）
- ・ 交通費負担軽減策、セット商品造成（交通＋体験）

14 消費額

【傾向】

- ・ 支笏湖高額（宿泊・交通費）、道外・海外客は、高単価
- ・ 市街地は、体験費（ゴルフ等）が高め。

【取組みの方向性】

- ・ 支笏湖の高付加価値維持＋体験型消費拡大
- ・ 市街地での新規体験コンテンツ（アウトドア・文化体験）開発

1 5 再来訪意向

【傾向】

- ・約 90%が再訪希望

【取組みの方向性】

- ・再訪促進策（リピーター特典・会員プログラム・リピート割引）を検討

1 6 必要な施策・環境整備

【傾向】

- ・海外客の要望では、情報発信・多言語案内・交通・体験が特に多い。

【取組みの方向性】

- ・多言語対応・デジタル案内・二次交通・Wi-Fi・体験の強化
- ・海外・道外向けに「安心・便利」を軸にした環境整備が必要

調査時期	調査地点

千歳市観光客調査

問 1. あなた自身について教えてください (単一回答)

- 問 1-1. 居住地：1. 千歳市 2. 札幌市 3. 千歳市・札幌市以外の北海道内
 4. 北海道外 (都府県名：) 5. 海外 (国および地域名：)
- 問 1-2. 性別：1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない
- 問 1-3. 年齢：1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上

※千歳市民の方は、ここで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

問 2. 今回、千歳市を来訪した目的は何ですか。(複数回答可能)

1. 観光・レクリエーション旅行 2. 帰省・知人訪問・結婚式・葬式等への参加
 3. 出張・業務旅行 4. 新千歳空港利用のみ 5. その他 ()

問 3. 今回、どなたと来られましたか (単一回答) ※ご自身を除いた人数を記入してください。

1. ひとり 2. 家族 (人) 3. 友人・知人 (人) 4. 仕事仲間 (人)
 5. 学校・その他の団体 6. その他 ()

問 4. 今回のご旅行は、こういった形態ですか (単一回答)

1. 個人旅行 (交通・宿泊などを自分で手配) 2. フリープラン型 (交通・宿泊のみ) のパック旅行
 3. 観光付きのパック旅行 4. 団体旅行 (地域・職場・学校など) 5. 特に手配はしていない

問 5. 千歳市を旅行するのは、これが何回目ですか (単一回答) ※空港や鉄道駅などの利用のみによる立ち寄り
 は除きます。

1. 初めて 2. 2回目 3. 3～9回目 4. 10回目以上

問 6. 主な利用交通手段 (単一回答) (北海道外からお越しの方は北海道に到着後の交通手段、主なものを
 1つに○)

1. 貸切バス 2. 路線バス 3. 鉄道 4. 自家用車 5. レンタカー
 6. オートバイ 7. タクシー 8. ホテルの送迎バス 9. その他 ()

問 7. 今回の旅行で、千歳市の直前に訪問した地域、また、千歳市の直後に訪問する地域について、それ
 それ1つ選んで番号を記入してください。(単一回答)

問 7-1. 千歳市の直前に訪問した地域 ()

問 7-2. 千歳市の直後に訪問する地域 ()

1. なし (自宅) 2. 札幌 3. 小樽 4. 登別・洞爺湖 5. 二世コ・羊蹄 6. 函館
 7. 旭川 8. 富良野・美瑛 9. 帯広 10. その他 ()

問 8. 旅行日程 (旅行全体の宿泊数と、そのうち千歳市での宿泊数) ※日帰りの場合は「0泊」

問 8-1. 旅行全体の宿泊数 (泊)

問 8-2. そのうち千歳市内での宿泊数 (泊)

問 9. 千歳市を旅行先（宿泊先）に選んだ理由は何ですか。（複数回答可能）

1. 美しい自然 2. 温泉・ホテルの評判が良い 3. おいしい料理や食材
 4. 新千歳空港が近い 5. 目的地への交通の便が良い 6. イベントがある
 7. 千歳が目的地のため 8. その他（ ）

問 10. 今回の旅行の計画中や、千歳滞在中に、どのような情報を参考にしましたか。計画前・滞在中に参考になった情報を全て選んで○を付けてください。

	旅行計画中に 参考にした情報	千歳市滞在中に 参考にした情報
1. 友人・知人の口コミ	1	1
2. インターネット上の口コミ・体験談（口コミ投稿や SNS など）	2	2
3. 旅行情報雑誌・旅行ガイド本	3	3
4. 新聞・フリーペーパー	4	4
5. 旅行会社の窓口	5	5
6. 観光パンフレット	6	6
7. テレビ・ラジオ	7	7
8. 自治体・観光協会などのホームページ	8	8
9. ホテル・施設のホームページ	9	9
10. 観光案内窓口	10	10
11. 宿泊施設や飲食店の従業員から聞いたおすすめ情報	11	11
12. 特になし（自分が過去に訪問した経験を参考にした）	12	12
13. その他（ ）	13	13

問 11. 千歳市内で、次にあげる観光スポットのうち、今回のご旅行でどちらに立ち寄りましたか（または、立ち寄る予定ですか）。（複数回答可能）

支笏湖周辺、 自然・景観・ 歴史資源	1. 支笏湖畔園地 2. 支笏湖ビジターセンター 3. 王子軽便鉄道ミュージアム 4. 支笏湖畔の土産品店・飲食店・アクティビティ 5. 王子製紙第一発電所 6. ポロピナイ園地 7. モラップ園地 8. 紋別岳・樽前山等の登山 9. 野鳥の森 10. 名水ふれあい公園 11. 美々貝塚・キウス周堤墓群
道の駅・ 市街地周辺	12. 道の駅サーモンパーク千歳 13. サケのふるさと千歳水族館 14. さけます情報館
温泉 (宿泊・日帰り入浴)	15. 支笏湖温泉 16. 丸駒温泉 17. 松原温泉
キャンプ場	18. 美笛キャンプ場 19. モラップキャンプ場
農業観光・ 工場見学	20. 北海道箱根牧場 21. ふれあいファームいずみ 22. ミルティーロ 23. 花茶 24. キリンビール千歳工場 25. キッコーマン千歳工場 26. カルビー北海道工場 27. 千歳ワイナリー 28. 新千歳空港
その他	29. ゴルフ場 30. パークゴルフ場 31. その他（ ）
32. どれも立ち寄っていない	

問 12. 今回の旅行の費用のうち、千歳市内で一人あたり（乳幼児を除く）いくらぐらい使いますか（使いましたか）。新千歳空港での飲食・お土産品購入を含めてご記入ください。

※下記の観光行動について、支出が「1. ある」「2. ない」のいずれかを回答し、支出が「1. ある」行動については、支払金額を記入してください。

※千歳市内での消費金額を記入してください。千歳市内には「新千歳空港」「支笏湖」「農村地区」を含みます。
 ※宿泊・レンタカー・ゴルフなどがパック料金に含まれる場合は、パック料金に含まれる支出項目の支払金額欄にそれぞれ「パック」と記入し、パック料金を問 13 で回答してください。

観光行動と支出の有無			支払金額 (一人あたりの金額)	補足
宿泊費	宿泊料金（朝夕 2 食付き）	1. ある 2. ない	円	複数泊の場合は市内泊の合計金額 レストランでの追加注文分も含む パック料金に含まれる場合は「パック」と記入
	宿泊料金（朝食のみ、素泊まり）	1. ある 2. ない	円	
飲食費	飲食店・カフェなどに支払った料金	1. ある 2. ない	円	宿泊費に含まれない食事代を含む
	軽食・おやつ（ドリンク・デザートなど）	1. ある 2. ない	円	ホテルや空港売店、道の駅、コンビニ、自動販売機等での購入金額
交通費	J R・バス・タクシー料金	1. ある 2. ない	円	千歳市内の移動に要した料金 タクシーは乗車人数で割った料金
	レンタカー、ガソリン、駐車場	1. ある 2. ない	円	レンタカー 1 台あたりの料金 パック料金に含まれる場合は「パック」と記入
買い物	自家用の買い物	1. ある 2. ない	円	自分の買い物、おみやげ品も含みます
	おみやげ品の購入	1. ある 2. ない	円	家族・友人・職場へのおみやげ品
観光	観光体験、施設入場料、日帰り温泉など	1. ある 2. ない	円	各種体験、工場見学、水中遊覧船、映画、カラオケなどの料金
スポーツ	ゴルフ、パークゴルフ、テニス等のプレー料金	1. ある 2. ない	円	一人あたりのプレー料金 パック料金に含まれる場合は「パック」と記入
自然	登山、自然散策、キャンプ	1. ある 2. ない	円	ガイド付きの自然散策料金、キャンプ場利用料金など
その他	具体的に	1. ある 2. ない	円	具体的な支出内容を記載してください

